

## 社会福祉法人都城市社会福祉協議会 平成29年度第3回評議員会 議事録

招集通知年月日	平成30年2月26日(月)
開催日時	平成30年3月26日(月) 13時30分～14時20分
開催場所	都城市総合社会福祉センター2階研修室
出席した評議員	評議員12名(評議員定数7名以上20名以内) 小牟田裕行、高山茂美、薬丸良英、永田優、柿木原康雄、福村修、坂下修、倉山幸一、前原修、松永廣生、新穂美代子、川本翰治
欠席した評議員	評議員8名 東利郎、高橋紳一、吉村洋子、馬籠英男、寺原美保子、木脇義紹、田爪邦士、玉利勇二、
説明のため出席した役員	理事2名 会長 島津久友、常務理事 西河邦博
説明のため出席した職員	事務局11名 中村健児、櫻田賢治、大田勝信、上野誠、黒原清美、下徳吉弘、木下夕子、花岡克美、児玉誠、星村太一、宮川文映
招集者出席の有無	会長 島津久友 出席

### 議事の結果

定刻に至り、事務局櫻田賢治が開会を宣言。まず、定款に基づき、会議の成立を確認。次に定款に基づき、柿木原康雄評議員を議長に選任し、議長は、新穂美代子評議員、坂下修評議員を議事録署名人に指名して、直ちに議事に入った。

審議の結果、次表のとおり、全会一致で議決された。

議案第 8号	平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第7号)について	可決
議案第 9号	平成30年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会事業計画(案)について	可決
議案第10号	平成30年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会収入支出予算(案)について	可決

終了時刻 14時20分

### 議事の経過

柿木原康雄議長「議長を務めますのでよろしくお願いいたします。それでは、さっそく議事に入ります。議案第8号平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第7号)について、審議をいたします。事務局より説明をお願いします。」

事務局中村健児「議案第8号平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第7号)について、定款第12条第1項第4号の規定に基づき、評議員会の議決を求めるものです。」(以下、資料に基づいて説明)

議長「説明ありがとうございます。それでは何か質問はございませんか。」

議長「質問はないようですが、よろしいでしょうか。」

全員「異議なし」の声あり、

議長「異議なしと認めます。従いまして、議案第8号は原案のとおり議決することに決

定をいたしました。」

議長「次に、議案第9号平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画（案）と第10号平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算（案）については、関連がありますので、一括で審議いたします。事務局より説明をお願いいたします。」

事務局中村健児「議案第9号平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画（案）と第10号平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算（案）について、定款第12条第1項第4号の規定に基づき、評議員会の議決を求めるものです。」  
（以下、資料に基づいて説明）

議長「説明ありがとうございました。質問はございませんか。」

新徳美代子評議員「都市社協は全国的にトップレベルの社協だと考えておりますが、新年度いくつかの新規事業の受託がございます。職員の負担や体制整備などの準備はできているのでしょうか。」

事務局中村健児「新規事業の受託に伴って、昨年、平成30年度正職員採用試験を実施し、有資格の職員を採用しました。職員体制は整えましたし、他の職員のフォローアップ体制、チームワーク体制もきちんと整えたいと思います。」

新徳美代子評議員「はい、わかりました。」

議長「市の保育課との名称の混同というような説明がありましたが、どのようなことでしょうか。」

事務局中村健児「社協の保育課が、他の社会福祉法人の保育園を管轄しているのではという誤解もあり、市の保育課との混同をさけることも名称変更の理由であります。」

議長「はい、わかりました。他に何か質問はございませんか。」

全員“異議なし”の声あり、

議長「異議なしと認めます。従いまして、議案第9号並びに議案第10号は原案のとおり議決することに決定をいたしました。」

---

以上の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人は議事録に記名押印する。

平成30年 3月26日

議長 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印